

実用技術英語(機械制御工学系) (Practical English for Mechanical and Control Engineering)		1年・後期・2単位・選択 機械制御工学専攻・ 担当 谷口 幸典・玉木 隆幸
〔準学士課程(本科1-5年) 学習教育目標〕	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 D-1(80%), C-2(20%)	〔JABEE 基準〕 (d-2a), (f)
〔講義の目的〕 機械制御工学分野の技術的な英語表現に関する知識, ならびに語彙などを習得することを目的に, 当該分野の英語論文の読解能力を養成するとともに, 自ら取り組んでいる研究の英文 Abstract 作成を通して英文技術論文を書くための知識を養う.		
〔講義の概要〕 前半は各自が自分の研究に関連する英文参考文献を検索・選択し, 当該論文の内容を2ページ(A4)程度に日本語で要約整理した上で授業中にゼミ形式で報告する. 後半では, 参考文献における表現を参考にして, 各自取り組んでいる特別研究の Abstract を作成の上, その内容に関して英語による簡単な Presentation を行う.		
〔履修上の留意点〕 選択する研究論文は, 権威ある科学技術雑誌に掲載されている論文(数ページ程度)が好ましい. 用いられている単語や語彙・表現方法に注意しながら読解に努め, 分かりやすくまとめて報告すること. また, Abstract の作成には, 研究の背景・目的・内容などについて調査・整理し, 客観的かつ明瞭な表現を心がけること. 研究概要の英語による Presentation においては自分の発表もさることながら他者の発表について英語で質問できるようにすること. 各資料は最終的に修正したうえで期限までに提出すること.		
〔到達目標〕 1) 機械制御工学分野の英文技術論文を読み, 内容を正しく理解し, 説明ができること. 2) 特別研究の概要を英文で作成でき, 英語で簡単な Presentation ができること.		
〔評価方法〕 英文技術論文の内容報告資料作成(50%), 英語による Abstract および Presentation 資料作成(50%)により総合的に評価する. 定期試験は行わない.		
〔教科書〕 教科書は使用しない. 適宜, プリント資料を配布する.		
〔補助教材・参考書〕		
〔関連科目・学指針〕 技術英語, コミュニケーション英語		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第 1 週	意義と目的	本講義の主旨（評価方法・講義計画などを含め）を説明する。	
第 2 週	概要関連表現（ 1 ）	Abstract 作成上，欠かせない語彙及び表現方法について解説する。	
第 3 週	語彙関連表現（ 2 ）	Abstract 作成上，欠かせない語彙及び表現方法について解説する。	
第 4 週	論文内容報告（ 1 ）	各自が選択した論文の内容を整理し，説明する。	
第 5 週	論文内容報告（ 2 ）	各自が選択した論文の内容を整理し，説明する。	
第 6 週	論文内容報告（ 3 ）	各自が選択した論文の内容を整理し，説明する。	
第 7 週	論文内容報告（ 4 ）	各自が選択した論文の内容を整理し，説明する。	
第 8 週	論文内容報告（ 5 ）	各自が選択した論文の内容を整理し，説明する。	
第 9 週	論文内容報告（ 6 ）	各自が選択した論文の内容を整理し，説明する。	
第 10 週	論文内容報告（ 7 ）	各自が選択した論文の内容を整理し，説明する。	
第 11 週	研究概要（ 1 ）	各自の特別研究に関する英文 Abstract を作成する。	
第 12 週	研究概要（ 2 ）	Presentation 資料を作成する。	
第 13 週	研究概要（ 3 ）	研究概要を英語で発表する。	
第 14 週	研究概要（ 4 ）	研究概要を英語で発表する。	
第 15 週	研究概要（ 5 ）	英文の研究概要を提出する。	
まとめ・総括等			

* 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)